

第127回総合計画審議会（令和元年5月22日開催）における意見と対応

（該当ページ順）

No	委員	意見主旨	対応	頁
1	丸山委員	どのような地域社会で暮らしていきたいのかは重要である。「少子・高齢化」という困難なイメージだけではなく、「長寿社会」などのポジティブな面も示す必要がある。	ご意見については、参考とさせていただきます。	6
2	伏見委員	PJ1「未病」について、特定健診は指標ではなくKPIに近いように思われる。指標にするのであれば、対応するKPIが必要ではないか。	ご意見については、参考とさせていただきます。	12 13
3	西村委員	PJ1「未病」のKPIで、「オーラルフレイル健口推進員(8020運動推進員)数」があるが、この推進員とは何なのか。HP見てもわからなかったの、知りたい人が確認できるようにしておく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期実施計画(案)の記載を修正・追加しました。 ※PJ1「未病」のKPIの名称に注釈を追記 ・「オーラルフレイル健口推進員」を説明するHPを作成しました。 	13
4	丸山委員	ラグビーやオリパラなどで、外国から多くの人がある。地震などの大規模災害の際に、特に言葉が通じない人が困らないよう対応が必要である。	<p>第3期実施計画(案)に記載しています。</p> <p>※PJ7「観光」、PJ9「減災」、PJ19「多文化共生」</p>	27 33 57
5	西村委員	PJ9「減災」について、県民ニーズ調査を指標としているが、客観的な項目も指標としてはどうか。	ご意見については、参考とさせていただきます。	32
6	西村委員	PJ10「治安」について指標を体感治安だけで設定すると、大きな事件が起きた際に「不安」という思いが高まってしまうのではないか。客観的な項目も指標としてはどうか。	ご意見については、参考とさせていただきます。	34
7	柏木委員	PJ13「子ども・青少年」の「A 結婚から育児までの切れ目ない支援」について、結婚の要素が読み取れないが、名称は適当なのか。	結婚の支援に対応する取組みがあることから、「結婚から育児までの切れ目ない支援」という名称にしています。	43

No	委員	意見主旨	対応	頁
8	柏木委員	PJ16「スポーツ」で、スポーツをする「場」の充実とあるが、それに関連するKPIはないのか。県立高校は土日空いているのに、活用されていない。	(PJ14「学び・教育」で「県立学校施設開放の利用回数」をKPIにしていることを5/22の総計審で説明済み)	45 49
9	柏木委員	PJ17「雇用」の前文に「労働環境の整備」と記載されているが、具体的な取組みには記載が無いように思われる。労働環境をどのように改善していくのが重要であり、記載をしておく必要がある。	第3期実施計画(案)の記載を修正・追加しました。 ※PJ17「雇用」の「具体的な取組み」の記載を充実	51
10	加藤委員	「コミュニティの再生」については、各市町村がコミュニティ施策を行っており、県は基礎自治体を支援するという形になると思うので、そのような方向性が示された方が良いのではないかと。	第3期実施計画(案)の記載を修正・追加しました。 ※神奈川の戦略「人生100歳時代」、「ともに生きる社会かながわの実現」に追記 ※PJ1「未病」、PJ3「高齢者」にも同様に追記	79 83
11	柏木委員	戦略「ともに生きる社会かながわの実現」の前文で、「ヘイトスピーチ対策などを推進する」と「など」がついている。ヘイトスピーチ対策は重要なので薄まらないように、しっかりと取り組んでもらいたい。	第3期実施計画(案)の記載を修正・追加しました。 ※戦略「ともに生きる社会かながわの実現」の記載を修正	82
12	齋藤副会長	戦略「ともに生きる社会かながわの実現」で、LGBTについても言及して欲しい。	第3期実施計画(案)の記載を修正・追加しました。 ※戦略「ともに生きる社会かながわの実現」にLGBTに関する記載を追記 ※PJ12「男女共同参画」にも同様に追記	82 83
13	柳瀬委員	指標やKPIの目標数値の妥当性については、例えば、4年前の数値を示してもらえると、妥当性について議論しやすい。	過去のデータを提示 (第2期実施計画の点検報告書で示している2014年以降)	99 ～ 122
14	関委員	指標・KPIの目標数値を設定した理由について、もう少し説明が必要ではないか。		

No	委員	意見主旨	対応	頁
15	牛山部会長	「行政をとりまく状況」の「(2)国から地方への権限移譲」という名称について、もう少し幅を持たせた名称にした方がよい。	第3期実施計画(案)の記載を修正・追加しました。 ※名称を変更	147
16	柏木委員	計画づくりにあたって、人口減少や高齢化の進展により、今後、財政状況が一層厳しくなっていくことも認識していると総合計画にも記載すべきである。	第3期実施計画(案)の記載を修正・追加しました。 ※神奈川をとりまく状況の「7 行政をとりまく状況」に追記	147
17	中村委員	目標を達成することは大事だが、達成するための費用対効果の視点も重要である。	(①評価報告書で予算化率を示す予定であること、②予算編成にあたってはEBPMの考え方を取り入れていることを、5/22の総計審で説明済み)	全体